



# 調査部ニュース 11月

## 保育所等の職員による虐待に関する通報義務が始動！

保育所等の職員による虐待に関する通報がこの10月から義務化されました。

この機会に、令和5年5月報告の『保育における不適切対応を考える調査』Q18自由記述に寄せられたご意見をトピック整理\*して情報提供させていただきます。

園内の保育環境や人間関係についての再点検のきっかけづくりにご活用ください！



トピック整理したイメージは  
こちらからご確認いただけます

## Q18保育における不適切対応に関する自由記述から

Q18自由記述には数は少ないながらも、園内の管理者や古い保育習慣の良くない部分を変えようとしているベテラン職員がいることを指摘して、その考え方や保育方針を改めてもらうことの難しさを訴える記述がありました。今回の通報制度の整備はそういった内部改善が難しいケースに対して大きなアプローチとなることが容易に想像されます。

ベテラン保育士の古い保育観がなかなか変わらないことに困ることがある。自分(主任保育士)が直接注意しても改善しない職員に、園長・副園長がなかなか注意しようとしていることが困る。上記は、直接的に子どもに苦痛がなくとも、子どもが成長していく場として不適切な環境であると考える。

上司が不適切対応している時はだれも何も言えなくなるのが保育環境の問題だと感じる。

不適切な対応があり、上司に相談しても伝えればパワハラと言われるから...と何の対応もしてくれない状態の為、改善がない現状に悩んでいる。上司以外に相談できる窓口があって欲しい。

上司から不適切な保育だと思われる発言をきましたが言えないことがありました。なかなか、園長や主任などには言えない保育士も多いのではと思います。

保育における不適切対応を考える調査  
(2023年5月報告)



## 保育施設で働くすべての方々へ

自由記述からは子どもの保育に関わる大多数の保育者が「良い保育」をしたいと願っていると感じます。そしてその「良い保育」は根底の部分こそ変わらずとも、時代の変遷による価値観の変化やそこにいる子どもや職員との相互作用で生まれ変わってきたものだと思います。どうぞ外部への通報といった最後の選択肢が選ばれるよりも前に、普段から顔を合わせている者同士で子どもまんなかを話し合える風通しの良い職場環境になっているか振り返っていただきたいと思います。